

家事・育児は誰の役割？

ジェンダーの本質を考える



2017年12月3日 日

14:00～16:20 (開場13:30)

東京家政大学 板橋キャンパス
1-4 B講義室 (1号館4階)

参加費無料

昔話に出てくる「おじさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に」というフレーズは男が稼ぎ手であり、女は家事を担うという性別役割分業的職業観に基づいており、その認識は21世紀の今においても払拭されてはいません。男女雇用機会均等法(1986)や男女共同参画基本法(1999)が施行されて久しいですが、法律が目指した社会の実現には至らず、多くの課題が存在します。

ジェンダーフリー社会を構築するためには、「ジェンダーフリーの本質は何か？」を市民一人ひとりが認識する必要があり、本講演会・落語会はその端緒となるイベントとして開催いたします。

申込方法《先着100名》

申込先 josei-mirai-project@tokyo-kasei.ac.jp

- ①参加代表者氏名(ふりがな)
- ②参加人数 ③乳幼児人数と年齢

- ◆①～③をメールでお申し込み下さい。
- ◆ご家族での参加もお待ちしております。
- ◆休憩スペースがありますので、授乳やおむつ替え等にご利用下さい。(プライバシー・ポリシー：いただいた個人情報は、本活動以外の目的には使用いたしません。)

申込締切
11/30(木)

登壇者



萩原なつ子氏

立教大学大学院 21世紀
社会デザイン研究科教授



古今亭 菊千代氏

落語家



樋口 恵子

女性未来研究所長

司会 守屋 眞二(女性未来研究所 兼任研究員)

◆スケジュール

- 13:30～14:00 受付
- 14:00～14:05 開会のあいさつ
- 14:05～14:50 講演「家事・育児は誰の役割？」(萩原なつ子氏)
- 14:50～15:05 休憩
- 15:05～15:45 落語「演目：当日発表」(古今亭菊千代氏)
- 15:45～16:15 鼎談(萩原なつ子氏、古今亭菊千代氏、樋口恵子所長)
- 16:15～16:20 閉会のあいさつ

◆交通アクセス

- ◆JR 埼京線「十条駅」下車
徒歩5分

※お車での来校はお控え下さい。
※当日は正門よりお入り下さい。

